

【技術分類】 3－2－5 筐体関連／基板・音響その他／基板

【技術名称】 3－2－5－1 メイン基板

【技術内容】

メイン基板とは、別表第 3（1）基板に関する規格によって定められる主基板のうち、主に内部抽選を司り、入賞に係わる制御を行なう基板を指し、主制御基板とも言われる。メイン基板は、「主基板ケース（かしめ）」と称する透明なケースで密封されており、CPU、ROM、RAM などの電子部品が装着されている。

1：ROM（リードオンリーメモリー）

遊技機の動作を制御するプログラムが記憶されている。主基板に装着される ROM に関する主な定義は下記の通り。

記憶容量 ：16KB を超えない
制御領域 ：4.5KB を超えない
データ領域の容量：3KB を超えない

※上記定義は、ぱちんこ遊技機、回胴式遊遊技機（パチスロ機）、アレンジボール遊技機及びじゃん球遊技機などのタイプ別に制限が課されている。

2：RAM（リードライトメモリー）

主基板に装着される RAM に関する主な定義は下記の通り。

記憶容量 ：1024B を超えない
使用領域 ：512B を超えない

3：その他電子部品（CPU など）

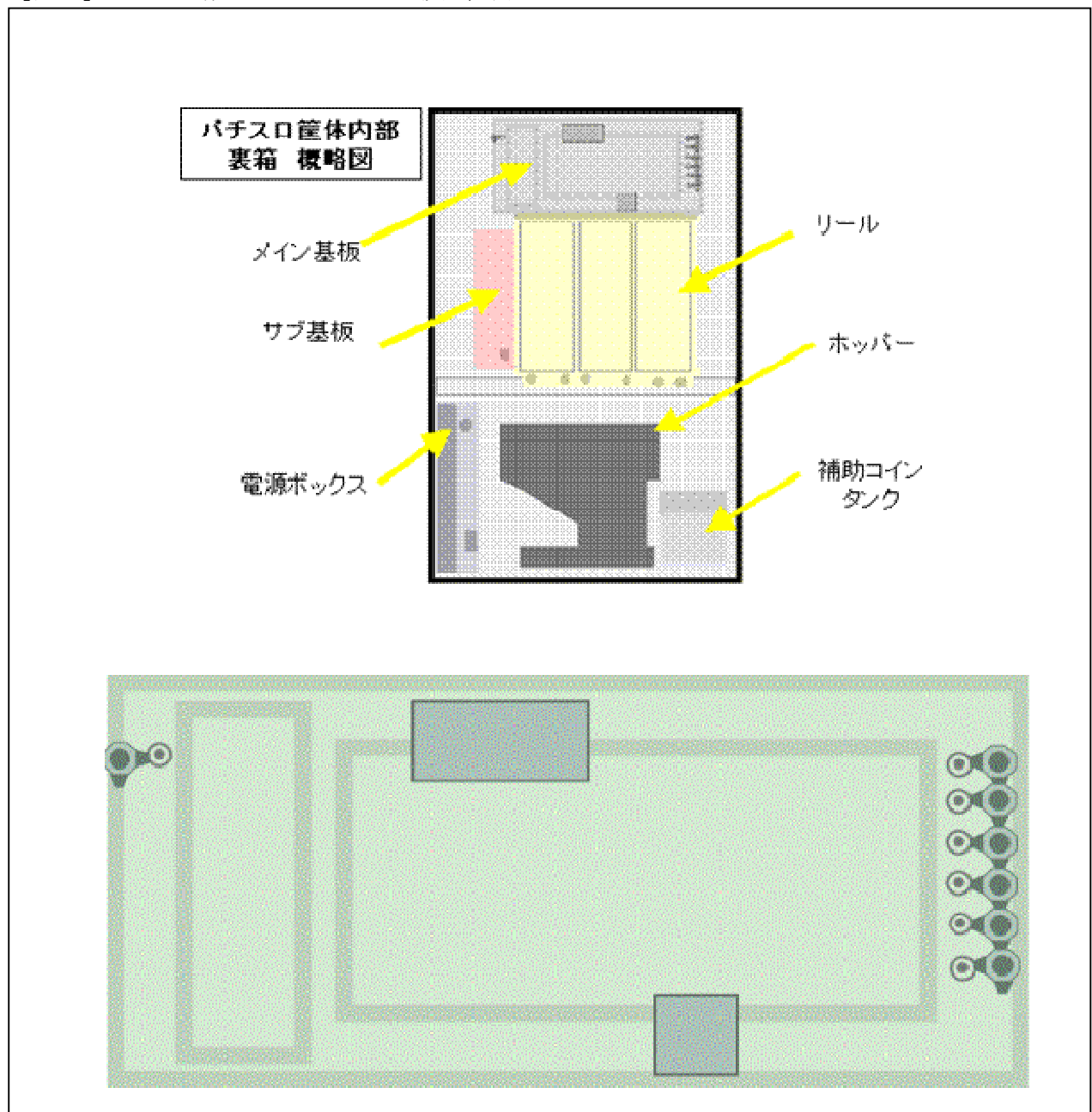
その他、装着可能な電子部品（CPU など）に関する主な定義は下記の通り。

- ・内部の論理回路が変更できないものであること。
- ・内部抽選の周期が 0.5 秒を越えない、もしくは周期が規則的で当選の機会を用意に推定できないこと。

4：主基板ケースーかしめ

別表第 3（1）基板に関する規格内の（1）基板に関する規格、（3）その他の規格内で定義されているもので、主基板（副基板を除く）ケースは、開封することにより、その痕跡が残るものとされている。これに対応するために、基板ケースの開封には、ニッパなどの工具を用いて、開封部位を切断することが必要な構造となっており、開封の痕跡が残るものとなっている。また、この開封は 3 回まで可能な構造となっており、開封の都度、開封者と開封年月日を記録する開封履歴票が貼付けされる。

【図1】パチスロ機におけるメイン基板配置例



出典：本標準技術集のために作成

【技術分類】 3－2－5 筐体関連／基板・音響その他／基板

【技術名称】 3－2－5－2 サブ基板

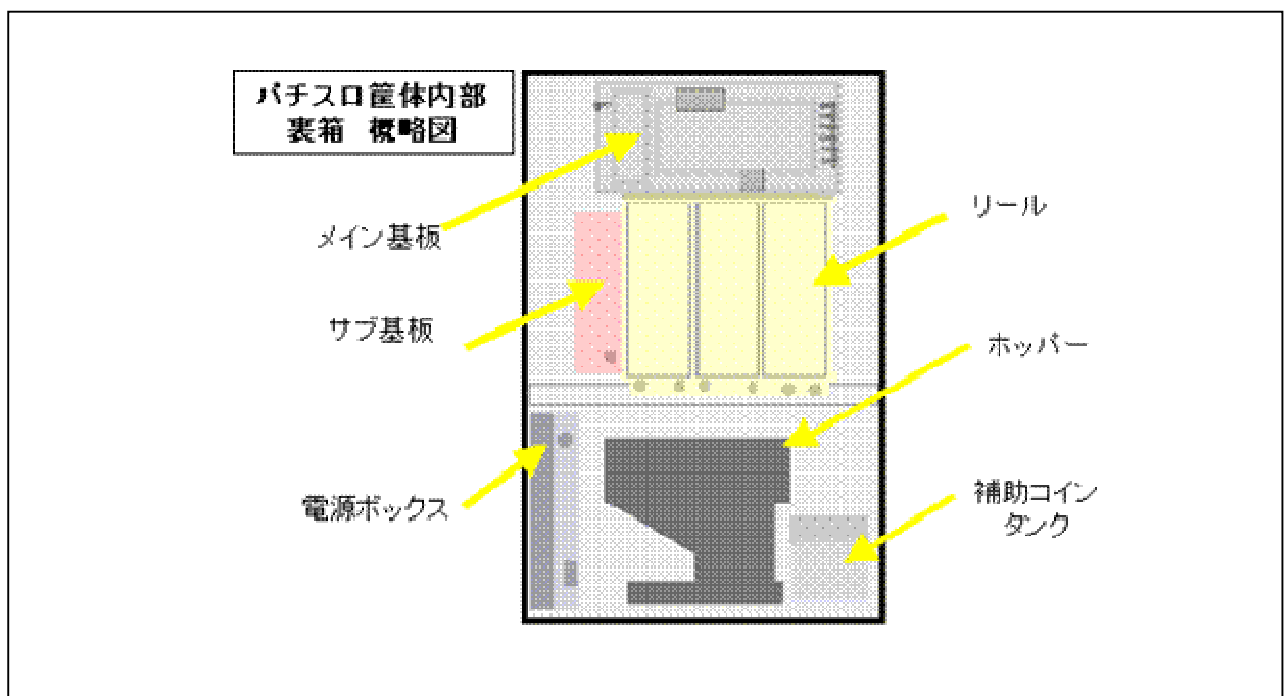
【技術内容】

パチスロ機が4号機になり、演出面での多様化（主にドットや液晶を搭載した機種の台頭）によって、それまではメイン基板のみでプログラム（払い制御、内部抽選、リール制御など）を制御していたが、容量に限りがある主基盤のみでは、多彩な演出（音声やBGM、ランプや液晶演出等）を制御することが難しくなったために搭載されるようになった基板で、ゲームの中核となる内部抽選やリール制御には影響を与えないという意図で使用が認められている。

サブ基板には搭載個数や処理速度等の制限がないため、制御対象それぞれに専用基板を設け、複数搭載している機種も存在している。また、機種によってサブ基板の設置場所は異なり、本体ドア裏側やリール横に設置されている。

なお、メイン基板からサブ基板に対しては、信号を送信するのみで、受信することは禁じられ、片方向通信となる（別表第3（1）基板に関する規格内「イ」参照）。

【図1】 サブ基板



出典：本標準技術集のために作成